

# ひのたにえん

2021 冬号



運動会の朝のラジオ体操。利用者が壇上に立ち、見本となります。

## 50年の節目に思う。

ひのたに園 園長 齋藤誠一

「ひのたにえん（2020 夏号）」でお知らせしましたとおり、令和2年6月1日をもちまして、ひのたに園は創立50周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら記念式典は一年間延期といたしました。が、「創立50周年記念誌」は3月発行に向けて、編集作業の大詰めを迎えています。今回は、その記念誌に纏わることを書きたいと思えます。

開設当初の頃にひのたに園で働いておられた4名の元職員の皆さまをお招きして、座談会を実施した日のことです。その中の一人、栄養士として勤務されていた皆川規子さんが、座談会の終了後、園内を見学されながら、ふとこうおっしゃいました。「自分が働いていた場所が廃れていくのではなく、どんどんよくなっていることがうれしい。退職して、27年経って初めて元職場に来てみて本当によかった。ここで働いてよかったと思う。」と。この話を聞き私は胸が熱くなりました。

また、記念誌を作成していて改めて感じることは、ひのたに園がたくさんの支えの中で存続してこれたのだということです。近所の自治会のみなさま、ボランティアさん、理髪店さん、お菓子屋さん、保育園、学校、スーパー、コンビニ、役場や社協の職員さん、近隣の福祉施設の方々などなど、本当に多くの方々を支えられてきました。記念誌へもたくさんの方がメッセージをお寄せくださっています。ご寄稿、本当にありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

一方で、50年の節目を迎えてこれからは、地域の福祉や街づくりにも力を入れていきたいと感じています。前年度からスタートしている居住支援や生活困窮者自立支援制度のサービスにとどまらず、地域のニーズに合った事業を地道に実施していきたいと思えます。この先50年後、いや10年後に私が、そしてみんなが、「ここで働いて良かった。」と感ずることができたなら、こんなに嬉しいことはないかもしれません。

# 最近のひのたに園

9月

9/3 防災訓練

10月

10/6 運動会

10/28 文化祭

11月

11/5 焼き芋会

12月

12/24 クリスマス会

11/16 小室等さんコンサート

小室等さんコンサートの様子



## ひのたに園運動会が開催されました！

爽やかな秋空の下、3年ぶりにグラウンドで実施できました。リレーや綱引きのチーム対抗競技のほか、50周年記念大会として〇×クイズ大会も取り入れ、勝ち負けにこだわる必死な姿、仲間を応援するかけ声など大いに盛り上がりました。閉会式の後には真っ赤に日焼けした笑顔が印象的でした。



## ひのたに園文化祭 2020

～HNT(ひのたに)48がやってきました～

50周年DVD上映や職員の幼少期写真クイズは50周年記念クッキーを味わいながら楽しみました。午後は職員によるチームHNT48までが出し物合戦。利用者からは「いつ練習したん」「笑わせてもらった」と大好評。勿論、職員だけではなく堂々とした司会、心温まる開会挨拶、元気な声が飛び交う模擬店等、利用者の皆様のご活躍、ご協力、素敵な姿も沢山ありました。コロナ禍の影響を感じさせない素敵な文化祭となりました。



## クリスマス会が開催されました！

利用者4名による漫才・ダンス・モノマネの出し物から始まり、瑞宝太鼓の和太鼓ワークショップの発表会にカラオケ大会。夕方にはケーキとラスクが振舞われました。そして今年のプレゼントは写真立て。大西暢夫カメラマンが50周年記念誌用に撮影してくださっている写真も現像して、早速皆様のお部屋に飾っていただいています。



## 「ホストクラブに飛び込み面接して。体壊れる覚悟で頑張ってる。」

三堀康一さん（46歳）

クリスマス会では「ひのたに園の一員として盛り上げたい」と出し物を企画してくださった三堀さん。

そんなサービス精神のもとになったこれまでのお仕事のご経験を伺いました。

>16歳から働いていたんですね。

箱根のホテルで、住み込みで3年くらいかな、20歳になるくらいまで。上司とのトラブルで退社した。1年後くらいに東京の夜の社交場に行ってみようと思って、ホストクラブに飛び込み面接して、だいたい7年くらい在籍してたかな。

お酒飲めなくても、とりあえずダンス的なことと、お酒飲める人と、良くしゃべる人と、歌がうまい人、この4つがあれば、もう指名がぼんぼん来る世代やった。

>お父さんは漁師だと聞きましたが、漁師にはなりたくなかったんですか？

だって、船で酔ってさ、げろ吐くのとさ、酒飲んで酔って吐くのと違うじゃん。酒飲んでげろ吐いた方がかっこいいじゃん。「あたしのために体張ってくれてこんなげろ吐いてくれたの」って思うよ。

1リットルくらいあるシャンパンを掛け声で一気に飲むわけだよ。が一っといったときにこぼすわけだ。これも単価かかっているわけだから「失礼しました、おーい乾いたおしぼりもってこい」って床拭くわけだ。それで、体壊れる覚悟で「失礼しました。これがホストです、見よってください。」って目の前でびしょびしょになったおしぼりを絞って飲んだんよ。それで気に入られたっていう。お陰様で入社してから3か月後にナンバーワン、ならしてもらった。

（聞き手・文 玉木）



「こんなポーズでいいかな」と三堀さん

## 人生いろいろ

### 「学ランのまま東京の上野駅に。「金の卵」って言われて。」

大野良連さん（70歳）

10月に入所されたばかりの大野さん。

インタビューのお願いに、「自慢話は何もないけど、冥土のみやげ話に付き合ってください」と快く引き受けてくださりました。

>大野さんの生い立ちを伺ってもいいですか？故郷はどちらですか。

まあ俺の故郷はね、山形の内陸地方。山形県には海がないと思っとなつたよ。行商のおばさんが海の魚を村に売りに来てたし。でも15歳で家出ちゃった。集団就職列車ってのがあったの。「金の卵」って言われて。中学卒業して学ランのまま東京の上野駅に向かうわけ。上野には登り旗もった呼び込みの大人がたくさん。凄かったなあ。

>集団就職列車って、聞いたことあります。東京ではどんな仕事を？最初は自由が丘のてんぷら屋。仕事場は学校で選べるんだよ。でもしんどくて逃げちゃってね。それから自衛隊行ったり、新日鉄のお偉いさんの送迎もやったり。接待ゴルフ三昧を待っている間、俺はタダで打ちっぱなししててさ。でも束縛がすごくて。

>その後はどうしてたんですか。

親戚を頼って、静岡の浜松で30年。トラック運転手とか建設会社とかね、よく働いてたよ。でもリーマンショックでクビになっちゃって、60歳のとき。名古屋の駅前でブラブラしてたら「おっちゃん仕事するか？」って声かけられて、それから岐阜県でガードマン。そのあと滋賀に来るわけだけど、年金ももらって、病気にもなって現在があるわけ。

>今のひのたに園での暮らしはどうですか？

ちゃんと食べて風呂入って寝ると、調子がいいね。55年も一人で生きてくると、ここのスタッフさん達の振舞い方が有難く感じるよ。バチ当たりの人生だったけど、人間欲が出てきて、もう少し生きたくなってきた。図々しいね（笑）

（聞き手・文：御代田）



「こんな俺の人生になんで興味あるわけ？」と大野さん

## 37年間、散髪に来てくださっていた

### 奥田さんに感謝とお別れを伝えました。

長年男性の散髪でお世話になったヘアーサロン HIKARI の奥田さんが高齢を理由に昨年12月を最後とされました。これまで37年間、滋賀県立日野溪園の時代から本当に多くの利用者の整髪、カットをして頂きました。最後となった21日はお別れのセレモニーを行い利用者、職員が感謝の気持ちを伝えてお送りし、奥田さんは思い出一杯の園を後にされました。



## NO-MAへの作品出展のお知らせ

第17回 ing展 ~障害のある人の進行形~ (2020/11/28~2021/2/7) が近江八幡市にあるボーダレスアートミュージアム NO-MA にて開催されました。毎年ひのたに園から1名出展していますが、今年度は前期(11/28~12/27)に、一昨年からはまった陶芸活動「アトリエ・セラミカ」で作った村木利男さんの作品「てんぐ」「はな」「かめ」の3点を出展しました。



村木利男さん、NO-MAの前で。

## 滋賀銀行日野支店ロビー展のお知らせ

滋賀銀行日野支店ロビー展にて、農業活動「あぐりひのたに」・芸術活動「アトリエセラミカ」の紹介を、年始1/4より、約2か月にわたり、パネル展示させていただいています。参加者のみなさんの真剣な表情をご覧ください。ぜひお立ち寄りください。



### 編集後記

人生いろいろ、今回で6回目になります。利用者の方の生い立ちをご紹介しますコラムとして、これまで12名の方に、厚かましくも掲載をお願いしてきました。出身地を訪ねてはじまる聞き取りは、大抵1~2時間に及びます。その中で、紙面でご紹介できるエピソードは僅かですが、原稿にしてご本人にお持ちすると、赤ペンでの修正・追加がたくさん入って返ってくることも。お聞きする内容はもちろん、そんなやり取りを通じて、それまで知らなかったご本人の姿に出会えるのが、このコラムを準備する面白さです。

